

みんなでチャレンジ！ 仕事と育児・家庭を 両立しやすい職場づくり

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。



社会福祉法人明照福祉会 明照保育園（横手市）

業種／医療・福祉 従業員数／33名

<https://xn--ruap9o0an95klt.com/>

(社福)明照福祉会は、一人ひとりの子どもの活動を大切に、集団での活動がより効果のあるものとなるよう、こころがけ保育をしています。

参観日の参加者：3名

当日のスケジュール

8:00	集合・受け入れ体験
9:20	自己紹介
9:50	お仕事体験
11:50	お昼ご飯配膳体験



あけましておめでとう！

お正月休み明け、初めて園児の皆がそろった日に子どもたちが園を訪れました。津村園長先生と一緒にごあいさつする子どもたちに、園児の皆は興味津々。小さい先生役として、子どもたちも気合十分ですね！

小さい先生の仕事ぶりは？

子どもたちは早速各クラスでお父さん、お母さんのお仕事を体験します。こちらのクラスでは、絵本の読み聞かせをしてくれました。小さい先生のお話に、園児の皆からはもう一回！という声。それから、皆に交じってかたどりに挑戦です。



園児の皆も大はしゃぎ！

遊戯室ではコロコロドッジボールの最中です。先生と一緒にボールを転がす子どもたち。思いもよらぬ方向へ転がるボールに、園児の皆は大はしゃぎ！子どもたちのボールを握る手にも、つい力が入ります。



お昼ご飯の時間です

ブロックあそびなど、ほかにもいろいろなお仕事をこなしていたら、そろそろお昼ご飯の時間。先生と一緒に配膳の準備に取りかかります。お皿を配るだけでなくお片付けもする子どもたちに、周りの先生たちは感心した様子でした。

保護者から

- ・卒園後もたまに園の先生たちに近況報告に来ることがあります。園には「ただいま」という風にやって来るので、第2の家のように感じていると思います。
- ・保育園という場所は育ってきた場所であり、後に戻ってくる場所でもあるのでは。
- ・園の仕事をしてみたいという話をするなど、子どもたちのお世話をすることに興味がある様子。参観日とおし、働くということを知るきっかけとなると良いですね。



職場から

- ・卒園した子どもたちが園児たちと過ごしているのを見ると、成長を感じます。
- ・従業員が休んだ場合のフォローには管理職が入るようにしているほか、従業員同士が支え合って乗り越えています。
- ・これからも、一緒に働く従業員の負担を軽減できるような両立支援の仕組みを考えていきたいですね。

